

79期 5月 重大事故 7件

作成日：2023年6月15日
安全品質環境推進部 統括グループ

再発防止対策欄/青地...対策完了 赤字...対策予定、継続中

区分	事故受付No	事故発生日	発生時間		地区名	営業所名	氏名	職種	年齢	勤続	損害程度 ・品名	休業見込 (実休業)	荷主・相手方		事故内容	
			名称	本・支店、工場												
1	J7900046	2023/5/11	火	午後 13:30	関西			作業	57	3ヶ月	電機部品8個破損 (損害金¥4,000,000)	-			貨	派遣作業員が2階倉庫でフォークリフトで作業時に爪先を見ていなかったため逆ネスタを倒してし商品を破損させた
	確認日	2023/5/18	木	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> 作業に慣れすぎて慢心していた(指差呼称が出来ていなかった) ラックが連結固定できていなかった 業務に関する手順書は用意してあったが、作業手順書が不十分であった 定期的な作業巡回ができていなかった ピッキングリストを見ながら作業していた(ながら作業) 	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 派遣作業員へ自社作業員と同等の教育を行う ⇒ 即実施 連結用治具を用いてラックを固定する(治具が揃うまで結束バンドで即時対応) ⇒ 5/31(水)実施 作業手順書を作成し、それに基づいた教育を実施 ⇒ 5/16(火)より実施 倉庫内の作業を定期的に巡回し、確認及び指導を行う ⇒ 即実施 フォークリフト力量評価に基づく、基本教育・力量評価のやり直し ⇒ 5/31(水)より実施 								
2	J7900047	2023/5/10	水	午後 18:00	東関東			作業	51	2ヶ月	塩ビパイプHT50/40/20(65束) (損害金¥1,500,000)	-			貨	塩ビパイプを4段格納の鋼製ラックの2段目を取るために、3段目4段目をまとめてリフトアップし後進した際にラックが傾き製品が落下し破損させた
	確認日	2023/5/20	土	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> 作業が遅れていたため、ルール無視し2段持ちした 4tフォークリフトに不慣れ、経験不足 安全教育未実施 	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 安全教育の実施 ⇒ 5/12(金)実施 空ラック以外は原則1ラックでの荷扱い ⇒ 5/10(水)より実施中 安全担当による巡回指導実施 ⇒ 5/12(金)~17(水)実施 								
3	J7900051	2023/5/16	火	午前 10:30	西関東			作業	30	2年	レンジフード2台全損 (損害金 550,000円)	-			貨	プラバシに集積された製品の仮置き作業をしていた時、2段積みのパレット(商品)が大き揺れたので急ブレーキをかけてしまい、その弾みも加わって製品が落下、破損させた
	確認日	2023/5/23	火	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> 製品1個乗りのパレットの上に製品2個乗りのパレットを段積みした。 荷姿が不安定だったにも関わらず段積みされたパレットを荷役した。 不安定な荷姿のまま荷役し、急ブレーキをかけた。 作業者離職に伴う引継ぎから、不慣れな場所でのフォークリフト作業を行い焦りが重なった。 	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 逆三角形(オーバーハング)状態での積み付け及び荷役の禁止 ⇒ 5/17(水)より実施 段積みされた荷姿に不安を感じた時は1パレットずつ荷役する ⇒ 5/17(水)より実施 急のつり上げ操作(急発進・急ブレーキ・急旋回)への注意喚起を実施 ⇒ 5/17(水)実施 事故事例注意喚起事項をワンポイントレッスンシートで教育 ⇒ 5/17(水)実施 再発防止対策徹底確認の為に管理者による日々巡察パトロールの実施 ⇒ 6月末迄重点実施 								
4	J7900053	2023/5/17	水	午後 17:30	東関東			作業	27	3ヶ月	右手薬指の指先の骨折	60日見込み			労	積まれている空パレットから1枚下そうとした際に片面差しパレットの重さがあって接地の際、床とパレットに指を挟まれて骨折した
	確認日	2023/5/26	金	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> 空パレットの山にハンドリフトが刺さった状態で取ろうとしてしまった パレットを手前に引かず、横にずらして取ろうとしてしまった 作業方法は定まっていたが、標準化されていなかった 	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> パレットの山は5枚以上の積み上げを禁止 ⇒ 5/18(木)より実施 空パレットの山からパレットを取り出し設置までの作業は男性が行うよう作業方法を変更 ⇒ 5/18(木)より実施 ワンポイントレッスンシートでパレット取扱方法について教育、周知 ⇒ 5/19(金)実施 作業手順書にパレット配膳方法を追記、改定し作業員へ教育、周知 ⇒ 5/26(金)より実施 各フロア(2・3・4層)責任者に因る定期巡回パトロールの実施 ⇒ 5/18(木)より実施 								
5	J7900056	2023/5/22	月	午後 13:30	中部			乗務	47	16年 4ヶ月	当方)フロント左側(中破) 相手)後部(大破)	-			交	着信確認で携帯電話を見ながら走行し、相手方車両が赤信号で停車していることを直前に気づき間に合わず、追突した
	確認日	2023/6/2	金	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> ながら運転(携帯電話操作)をしていた為、前方の状況確認が遅れた 	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 乗務員受付場で事故動画の映像を映し、事故周知 ⇒ 5/23(火)より実施 ながら運転禁止の掲示物を掲示 ⇒ 5/23(火)より実施 ワンポイントレッスンシートでの指導、及びながら運転宣言文の作成 ⇒ 5/23(火)より実施 朝礼、安全衛生委員会などで繰り返し教育を実施 ⇒ 5/23(火)より実施 								
6	J7900066	2023/5/29	月	午前 9:30	東北			乗務	40	1年 4ヶ月	シャッター上部のモーター部凹み (損害金1,000,000円)	-			交	工場の5号棟から6号棟へ移動する際に車両を前進させたが、ウイングを閉め忘れていた事によりシャッターのモーター部へウイングを接触させ破損させた
	確認日	2023/6/9	金	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> 移動しなくてはという意識、焦りが働き、基本的な確認を怠ってウイングを閉め忘れた ウイングが開いた状態ではエンジンが始動しない安全装置を装着していたが作動しなかった 積込前の(乗務員への)送り出し教育が不十分だった 	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 本件事故の内容、再発防止対策を、自社・協力会社乗務員にワンポイントレッスンシートで指導教育、周知 ⇒ 即実施 ウイング車両の安全装置(インターロック)装着状況、作動状況の確認と注意喚起の実施 ⇒ 6/14(水)実施 ※専属車両 積込開始前は乗務員へ直接連絡し、注意事項、順序事項等の伝達を行うよう徹底 ⇒ 即実施 作業指揮者としてのリフトマンが、ウイングの閉鎖を確認してから発進する。⇒ 即実施 								
7	J7900069	2023/5/31	水	午前 5:10	北関東			乗務	49	13年 5ヶ月	ユニットバス破損 (損害金500,000円)	-			貨	パレットに積まれたユニットバスをトラックからの荷下ろし中、パレットの重心を確認するにあたり中途半端な地切りのまま重心を確認したため、荷台からパレットを降ろした瞬間バランスを崩し破損させた
	確認日	2023/6/5	月	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> パレットに積載している製品がいつもより重く積載バランスが悪い状態であった。 地切りの際、重心バランスが不安定な状態確認を怠った。 リフトを進進して爪を下げる際に、積載物が車両から離れているかの確認不足があった。 2023年5月23日にカウンターリフトからリーフリフトに変更した。 	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> リフトアップする際は、地切りを行いパレットの前後左右の重心を確認するよう指導教育 ⇒ 5/31(水)より実施 車両からパレットを縦押しして下す際、直進で後退して荷台からパレットが離れた事を確認して製品を一旦下し、パレット横で押し直し移動する ⇒ 6/1(木)より実施 リフト操作時、爪差込み・重心確認・後進時・荷台から離れる際に指差呼称を行うよう指導・確認 ⇒ 6/1(木)より実施 フォークリフト事故惹起者研修を受講させ、基本動作、安全確認方法等の再認識による力量向上 ⇒ 7/31(月)マジワーク太田校 								